

2005年防災教育チャレンジプラン最終報告書

記入日2006年 1月 31日

Ⅰ 概要

実践団体・担当者名	高知県立高知東高等学校（担当者：谷内 康浩・小川 晴美）	
連絡先	高知県高知市一宮徳谷23-1 電話088（845）5751	
プランタイトル	体育祭での競技種目「バケツリレー」	
目的	火災の火を消す方法の定番「バケツリレー」。水をバケツを使って早く運ぶためには、要領・チームワークとともに慎重さが求められる。一人が1日に必要な水の量は最低3リットルと言われている。こぼさずに早く、正確に水を運ぶことで、水の大切さや協力して取り組むことを学ぶ。	
プランの概略	【方法】 1チーム12名で、バケツの水を水槽まで運び、早く一杯にしたチームを1位とする。 【ルール】 ①バケツは、お互いの手の届く範囲で手渡す。（次の人へ歩いたり走ったりして渡すことはできません。） ②バケツを渡した人は、すぐにチームの先頭にいき、バケツが来るのを待つ。 ③バケツの水を水槽に入れた人は、空バケツを持ってスタート後方の新しい水の入ったバケツを取りに行く。 ④他の人は1回目と同じ体型をとり、2回目のバケツを運ぶ。 ⑤水をこぼさず運べば、2回で水槽は一杯になる。	
プランの対象と 参加人数	体育祭参加者 1チーム12名×7チーム（うち1チームは教職員）	
実施日時	2005年10月14日（金曜日）	
主な実施場所	運動場	
連携した団体名、 連携の方法	連携団体の有無	無し
	連携した団体名	
	連携したきっかけ・理由	
	連携団体へのアプローチ方法	
	連携団体との打合せ回数	
	連携団体との役割分担	

Ⅱ プラン立案過程

プラン立案	団体内のスタッフ総人数	11名（校内地震防災プロジェクト委員会メンバー）
-------	-------------	--------------------------

メンバーの 人数・役割	外部スタッフの総人数	0名
	主なメンバーの 役職・役割	校長（1名） 教頭（2名） 事務長（1名） 教諭（6名） 実習助手（1名）
プラン立案に要し た日数・時間	立案期間	2005年4月 ～ 9月
	立案時間	1時間×2
	上記のうち打合せ回数	2回
プラン立案で 注意を払った点 工夫した点	〇競技性を持たしながら、見ている者にもバケツリレーの方法がわかるようにする点。	
プラン立案で 苦労した点	〇バケツリレーについて、体育祭で実施する場合の具体的な方法を記述したものが少なく、立案に苦労した。（防災教育チャレンジプランのMLで質問し回答をいただいた。）	

Ⅲ実践にあたっての準備

準備に関わった方 と人数・役割	団体内のスタッフ総人数	11名（校内地震防災プロジェクト委員会メンバー）
	外部スタッフの総人数	0名
	主なメンバーの 役職・役割	校長（1名） 教頭（2名） 事務長（1名） 教諭（6名） 実習助手（1名）
準備に要した日 数・時間	準備期間	2005年9月 ～ 10月
	準備総時間	1時間×1回 1時間×1回
	上記の内打合せ回数	1回
教育関係への 働きかけ	働きかけた教育関係者・ 機関名	
	どのように働きかけたか	
	結果	
地域への 働きかけ	働きかけた地域の人・ 機関名	
	どのように働きかけたか	
	結果	

保護者・PTAへの働きかけ	働きかけた保護者・PTA組織名	
	どのように働きかけたか	
	結果	
機材・教材の準備方法	用意した機材・教材	機材：バケツ、ゴミ箱、半透明のBOX（水槽）・・・赤いテープを貼る
	入手先・入手方法	ホームセンター
	機材・教材選定の理由（なぜこの機材・教材を選んだのか）	○消火に使う用具はバケツの場合だけではないので、取ってのないゴミ箱も準備した。 ○水槽は半透明の方が水位が見えるため。また、炎に見立てるため赤いテープを貼った。
参加者の募集	募集方法	体育祭の3グループから選手を選抜 教職員は、各学年団から選手を選抜
	募集期間	2005年9月
	参加予想人数	84名
	実際の参加人数	84名（12名×7チーム）
	募集方法の成功点	
	募集方法の失敗点	
準備で苦労した点・工夫した点		○バケツ・ゴミ箱を使い、水をこぼさない場合は、2回で満杯になるように、バケツや水槽の大きさを工夫した点。

Ⅳ タイムスケジュール（プラン立案から実践終了までのスケジュールを記載して下さい。）

	プラン立案	実践にあたっての準備	実践
2004 11月			
12月			
2005 1月			
2月			
3月			
4月			
5月	○5/31 第1回地震防災プロジェクト委員会で日程確認		
6月		○6/28 第2回地震防災プロジェクト委員会で実施方法を検討	
7月			
8月			
9月		○準備物を購入	
10月			10/14 体育祭で実施
11月			
12月			
2006 1月			

V実践の詳細 【A. 素材】（メインとなる活動を45分を1コマとして記入して下さい。）

タイトル				
実施日				
所要時間	45分			
達成目標				
生成物				
進め方 (箇条書き)				
ツール (特別に用意した もの)				
場所				

V実践の詳細 【B. イベント】（短期集中型のプログラムを 45 分を 1 コマとして記入して下さい。）

タイトル				
実施日				
所要時間	45 分	45 分	45 分	45 分
達成目標				
生成物				
進め方 (箇条書き)				
ツール (特別に用意した もの)				
場所				

V実践の詳細 【C. 総合的な学習の時間】（継続的な学習を45分を1コマとして記入して下さい。）

タイトル				
実施日				
所要時間	45 分	45 分	45 分	45 分
達成目標				
生成物				
進め方 (箇条書き)				
ツール (特別に用意した もの)				
場所				

VI 実践後

参加者への アンケート結果	参加した教職員へのアンケートより（抜粋） ○生徒へのルールが徹底していなかったため、もたついた部分があった。 ○みんなが一生涯懸命に参加していた。こうした場面を提供できると、生徒も喜ぶと思います。 ○バケツの容量が大きかったのでは？ ○よくわからないうちに、終わってしまいました。 ○リレーの間に少しでも少した水が命取りになった。 ○見ている人には水量がわからなくてつまらなかったようです。色水にしてみても。	
成果として 得たこと	○競技としてのバケツリレーの実施方法は、工夫を必要とするが、体育祭という全校生徒・教職員が見ている前での実施は、要領が見えて、今後に役立つと思われる。	
成果物	（学習指導案、指導計画書、配布物、ワークシート、報告書、掲載記事等。 データがあればデータファイルを貼付して下さい。） ○実施要領 ○写真	
広報方法	広報した先	
	広報の方法	
	取材にきたマスコミ	
	広報された内容（掲載された記事・番組等）	
	成功点	
	失敗点	
全体の感想と 反省・課題	○簡単に「バケツリレー」と言っても、様々な方法があることがわかった。しかし、その具体的な方法はあまり公開されておらず、体育祭にふさわしい競技性を取り入れた、独自の方法を工夫することに苦労した。防災教育チャレンジプランの各団体・個人よりMLを通してアドバイスをいただいたことは、たいへん参考になった。 ○実施してみて、・ルールを参加者に徹底すること ・審判との打ち合わせの必要性 ・終了後の水槽の移動方法 などの課題が明らかになった。	
今後の予定	来年度以降の進め方	○防災避難訓練で、競技性を取り除いて実施することを検討。
	是非実施してみたい 取り組み	

自由記述